

改築基本方針(案)	これまでの主な意見
<p><b>1 子供の夢が、未来が広がる学校</b>                      ～「学びの場」としての高機能で多機能な学習環境の整った学校づくり～</p> <p><b>A</b> 学年区分に応じたゾーンを設け、その成長度合いに応じて少人数指導、習熟度別学習、グループ学習など多様な学習活動が可能な大小の学習空間を、オープンスペースと普通教室を連動させて作り出す。</p> <p><b>B</b> 日々の活動が主体的、能動的に行えるよう子供の目線に配慮するとともに、自主学習や読書をはじめ、理科や社会など疑問に思ったことを自ら調べられるラーニングセンターを学校の中心に据え、子供の自発性、向学心を伸ばせる施設とする。</p> <p><b>C</b> ICT環境や、小中一貫教育の充実を視野に入れた施設とする。</p> <p><b>D</b> 日本の伝統・文化の理解が深めやすい空間を備えた施設とする。</p> <p><b>E</b> 子供の健康や体力向上に資するため、運動施設はゆとりのある、利用のしやすさに配慮した配置とする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 低学年用の教室・中学年用の教室・高学年用の教室のような、子供の身の丈に合った教室づくりも検討すべきである。(A)</li> <li>② 学年準備室や少人数指導・個別指導のための、個別に使い勝手が良い部屋がほしい。(A)</li> <li>③ 各部屋の使い勝手を将来に任せられるように、スペースを豊富に用意してほしい。(A)</li> <li>④ 低学年ゾーンで、教室からテラスに直接行くことができるようにしてほしい。また、低学年を集めて説明できるスペースがほしい。(A)</li> <li>⑤ 理科室は、理科専科以外でも低学年・中学年でも使うため、1室だけだと足りない。そのため、理科室を2室作るか、準備室を2つ作るなどの工夫が必要だと思う。(A)</li> <li>⑥ 今後、目が離せない子供が増えてくるのであれば、クールダウンスペースは必要だと思う。(A)</li> <li>⑦ ホワイトボードも良いと思うが、使い勝手の良い可動式の黒板のような最新の設備を設けてほしい。(A)</li> <li>⑧ 各教室に教員の準備スペースを設け、その壁をマジックミラーにして、授業の準備をしながら子供の様子も見られると良い。(A)</li> <li>⑨ 校庭と保健室が近い配置は機能的でとても良い。また、保健室の隣には相談室のような個室を設けると使い勝手が良いと思う。(A)</li> <li>⑩ 仕切りが無くオープンスペースと連動した教室は、従来の狭い教室よりも衝動的に教室から出てしまう子供が少ないということであれば、勉強にも集中できて良いと思う。(A)</li> <li>⑪ 仕切りが無くオープンスペースと連動した教室は、子供が落ち着いて勉強できるか心配だ。(A)</li> <li>⑫ 子供たちがお仕事やお手伝いを楽しいと思える施設にしたい。例えば、花壇の水遣りや草取りができるようにバルコニーを設置したり、子供の背丈にあった掲示板などを設置する。(B)</li> <li>⑬ 図書室は高井戸小のように学校の中心にあって、部屋として仕切られていないオープンな、いつでも本を手にとることができ、また、調べ学習や勉強ができる充実した内容の施設にしてほしい。(B)</li> <li>⑭ 安全性が確保できるならば、子供が集まって調べ学習をするような場所を吹き抜けにしてほしい。(B)</li> <li>⑮ 近隣中学校(西宮中)との小中連携教育を進めるためには、中学校の要望等を聞くなどした方が良いと思う。(C)</li> <li>⑯ 和室を設けて、日本の伝統文化に関する教育を進めてほしい。(D)</li> <li>⑰ 地域の文化人の画や世界的な画などを飾って、子供たちの夢が広がる学校にしてほしい。(D)</li> <li>⑱ 校庭は広くとり、また、全面芝生ではなく、土を残して裸足で走れるようにして、くつろぐ場所だけを芝生にすると良い。(E)</li> <li>⑲ 屋上プールやビルトインの体育館はとても機能的で良いと思う。(E)</li> </ol>
<p><b>2 子供の笑顔がはじける安心・安全で快適な学校</b>                      ～「集団生活の場」としての健康的かつ安全で快適な学校づくり～</p> <p><b>F</b> 歩道状空地と植栽が調和し、街に溶け込み、安全で、かつ、学校に来ることが楽しくなる空間をつくる。</p> <p><b>G</b> 特別支援学級の充実を含め様々な人々への配慮が盛り込まれたユニバーサルデザインを基調とした施設とする。</p> <p><b>H</b> 子供たちの環境教育にも活用できるエコスクール(環境共生型学校)を基本とし、木質化した内装など、快適で温もりのある施設とする。</p> <p><b>I</b> 子供たちが安心して過ごせるよう将来に渡った施設の安全性や不審者の侵入防止などの安全対策が十分に講じられた施設とする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① すべてを見通せるもの良いが、子供だけが入れる安全で小さな空間があると、子供がわくわくするような学校になると思う。(F)</li> <li>② 敷地が狭くなってもいいから、安全な通学路のスペースをとってほしい(学校の周りの道路が抜け道となっていて危険なので)(F)</li> <li>③ 南側の方(プールの方)に正門を作って欲しい。(久我山4・5丁目の子供が車に脅かされないで登校できる)(F)</li> <li>④ 時計台のような、シンボルとなるものがほしい(古いものと新しい子供たちとの共存ができたら良い)(F)</li> <li>⑤ 特別支援学級は、現状は端の方に配置されているので、もっと効果的な配置を検討してほしい。(G)</li> <li>⑥ 光の入る明るい学校にしてほしい。(H)</li> <li>⑦ 建物は木や自然のものを多く取り入れてほしい。(H)</li> <li>⑧ エコスクールは、これまでの実績や経験を踏まえてコストや効果を考慮した上で、どのような環境教育をしていくか検討してほしい。(H)</li> <li>⑨ 校舎の配置がビルディング形式だと、先生の目が子供たちに行き届くか心配。(I)</li> <li>⑩ 職員室はガラス張り、校庭・廊下を見られる場所に配置してほしい。(I)</li> <li>⑪ 職員室から玄関等の生徒・外来の出入りの一元管理ができるような配置にしてほしい。(I)</li> <li>⑫ 教室のバルコニーや落下防止ネットは、安全面等を考えると必要だ。(I)</li> <li>⑬ シンボルとなるメインの校門がほしい(安全確保されている)(I)</li> <li>⑭ 子供が安心・安全に学校生活を送れることが、一番大事なことである。(I)</li> </ol>
<p><b>3 自然の風、地域の風が吹きぬけ、地域の中心にある学校</b>                      ～「地域の公共施設」としての地域に開かれた学校づくり～</p> <p><b>J</b> 街のランドマークとして地域の人にも愛され、また、子供たちも自分たちの街を見渡せ、地域の中の学校という意識を持つことができる施設とする。</p> <p><b>K</b> 地域の防災拠点としての十分な機能を備えた施設とする。</p> <p><b>L</b> 学童クラブを校内に設置し、放課後に子供たちが安全・安心に過ごせる場所をつくる。</p> <p><b>M</b> 子供・保護者ととも地域の人にも自然環境の大切さを感じることができる施設とする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 大勢の人々と一緒に生きているという公共的な概念を育てるため、出来るだけ高い場所から街全体を見渡せる施設を設けてほしい。(J)</li> <li>② 地域の方々が気軽に利用できるようなコミュニティルームを作ったり、保育園等の施設を入れたりしてはどうか。(J)</li> <li>③ 学校の一部を完全に仕切って安全対策を講じた上で、そこにカフェテラスのような、お年寄りの方等が遊びに来て思い出を語る場所がほしい。(J)</li> <li>④ 地域の人でも利用できるように、校庭からアクセスできる控室や、体育館に広い控室を設けてほしい。(J)</li> <li>⑤ 教員だけでなく地域の方々も利用できるように、会議室をたくさん作ってほしい。大きい会議室は他教室との共有スペースでも良い。(J)</li> <li>⑥ 地域に愛される、想いが詰まった学校にしたい。(J)</li> <li>⑦ 体育館を広くして中に防災倉庫を入れて、外にも防災設備を設けてほしい。また、防災倉庫はわかりやすい配置にして欲しい。(K)</li> <li>⑧ 宮前の学童クラブは満員で利用できない状態で、また、特別支援学級の児童の場合、ヘルパーを利用しなくて済むように、校内に学童クラブを作ってほしい。(L)</li> <li>⑨ 今までの学校は、直射日光が入って教室がうだるような暑さになっているので、風や空気の流れを利用して真夏にも対応できる涼しい学校にしてほしい。(M)</li> </ol>

### その他の意見・感想・質問等

- ① 教室は南向きに限定しなくてもいいのか。
- ② 空間の中で高さを上手に生かした設計をしてほしい。
- ③ 仮校舎の位置によって校舎も北側に決まるのか、色々気になる。
- ④ 大規模開発にはならないのか。
- ⑤ 樹木は切るのか。
- ⑥ 若葉台小のように木のある小学校はうらやましいと思った。
- ⑦ 1 学年 3 教室以上は考えないでいいという意味なのか、それとも 4 学級出てきたときに、全学年のエリアを 4 学級にしていくというように考えないといけないのか。
- ⑧ 3クラスと決めたらそれ以上は断るスタンスにするのか、希望者が多ければ4クラスでもいくのか(新しい学校は魅力的に思えるから、希望者が増えることを大前提で考えるべき)
- ⑨ 理科の授業がどうなっているのか。科学館とどんな連携がされているか。(視察のときに理科室が足りないという意見があったので)
- ⑩ これからの理科教育は、100年先のことを考えた場合、エコや環境問題など、宇宙的地球的規模の学習をすることが重要となってくると思う。
- ⑪ 理科教育充実のための施設をつくってほしい。

# 高井戸第二小学校

## 校舎改築検討協議会ニュース

### 第1号

— 改築に向けて平成 22 年度中に基本計画案をつくります —

## はじめに

杉並区では、阪神・淡路大震災が起きる以前より、学校の耐震診断を行い、改築、補強工事を進めてきました。高井戸第二小学校につきましても、耐震診断調査を実施し、総合的に判断した結果、補修ではなく、校舎を全面改築することを計画しました。

校舎改築にあたっては、教育内容の多様化にも対応できる校舎づくり、また、地域に開かれた安全・安心な学校づくりを目指し、本年度、地域の皆様、学校関係者の方々、学識経験者による高井戸第二小学校校舎改築検討協議会を設置して、幅広くご意見をいただきながら、基本計画（案）づくりを進めていきます。

6月10日（木）に第1回、7月14日（水）に第2回の改築検討協議会が行われました。話し合われた内容について協議会ニュースでお知らせしていきます。

## 改築検討協議会概要

### ○改築検討協議会委員

改築検討協議会の委員は、下表のとおり 18 名で構成しています。

	団体名等	氏名		団体名等	氏名
1	高井戸交通安全協会久我山地区	大熊 和夫	10	久我山連合商店会	堀江 京司
2	高井戸第二小学校支援本部	金澤 幸雄	11	高井戸第二小学校学校評議員	松本 和恵
3	高井戸第二小学校支援本部	小嶋 貴子	12	主任児童委員	山瀬 睦子
4	高井戸第二小学校 PTA	鈴木 菜未	13	久我山南自治会	弓削田 梢
5	高井戸第二小学校支援本部	関口 佐知子	14	高井戸第二小学校校長	遠藤 武司
6	青少年育成委員会宮前地区	永井 由紀	15	高井戸第二小学校副校長	秋山 和子
7	久我山西自治会	秦 晴夫	16	高井戸第二小学校事務職員	永富 裕
8	親児の会	平野 徹	17	首都大学東京副学長	上野 淳
9	高井戸第二小学校学校評議員	古和 浩子	18	杉並区都市計画審議会会長職務代理	村上 美奈子

(五十音順・敬称略)

## ○新校舎ができるまで

本年度、改築検討協議会で基本計画案づくりを行った後、平成23年度に実施設計、平成24年度から新校舎を建設し、平成26年中の新校舎使用開始を目指します。

### 22年度

改築検討協議会で基本計画案づくりを行います。  
区はその基本計画案を基に、基本設計を作成します。

### 23年度(予定)

基本設計を基に、実施設計を行います。

### 24年～26年度(予定)

建設工事



## 第1回協議会の内容

### ○概要



第1回協議会は、平成22年6月10日に高井戸第二小学校で開催されました。最初に教育長から委員の委嘱があり、委員相互の自己紹介が行われました。会長には学識経験者の上野委員が選出されました。

その後、教育委員会事務局から校舎改築の基本的考え方や校舎の現況等について、学校長から高井戸第二小学校の特色等について説明を行い、これらに対する質疑・意見交換を行いました。

### ○高井戸第二小学校改築にあたって(事務局説明の概要)

- ・未来を担う子供たちのために、「学びの場」としての高機能で多機能な学習環境の整備をしていきます。
- ・ユニバーサルデザインを基調とした快適で親しみやすい学校とするとともに、不審者の進入防止などの安全対策を十分に講じた施設とします。
- ・地域の方々にも活用しやすく、また、大震災時の震災救援所としての防災機能の充実を図り、避難・救援活動等が円滑に行える施設とします。

### ○情報提供

資料や議事録等の詳細な情報につきましては、今後、杉並区教育委員会ホームページ上で公開していきます。

## 第 2 回 協 議 会 の 内 容

### ○概要



第2回協議会は、平成22年7月14日に行われました。区立荻窪小学校及び区立高井戸小学校の視察を行い、その後、高井戸小学校にて、視察の感想も含め「高井戸第二小学校をこんな学校にしたい」をテーマとして、各委員の意見交換を行いました。

各委員からの主な意見は、次ページに掲載しています。



### ○ユニバーサルデザインとは？

ユニバーサルデザインとは、文化・言語の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計（デザイン）をいい、こうした考え方に基つき、「誰も」が快適に使える校舎づくりを目指します。

### ○安全対策・防災機能について

建物配置を工夫したり、防犯カメラを設置することにより、敷地内において死角となる場所を極力なくします。また、災害時の避難場所としての機能を充実します。





## これまでの委員の主な意見

- ・ オープンスペースの教室は、子供たちが落ち着いて勉強できるか心配。
- ・ (校長先生の話聞いて) オープンスペースの教室は、従来の狭い教室よりも衝動的に教室から出てしまう子供が少ないということであれば、勉強にも集中できてとても良いと思う。
- ・ 子供たちの公共性が育てられるような学校づくりを行いたい。
- ・ 誰もが手軽に本を手にとって読めるように、学校の中心の場所にオープンな図書室があると良い。
- ・ 職員室は先生が目が子供たちに届くような配置にするのが望ましい。
- ・ 教室のバルコニーや落下防止ネットは、安全面等を考えると、必要だと思う。
- ・ 風や空気の流れを考えて、真夏に対応できる涼しい学校にしてほしい。
- ・ 自然の光が入るような、明るい校舎にしてほしい。
- ・ 校舎には、木や自然のものを取り入れてつくってほしい。
- ・ 校庭を広くとってほしい。
- ・ 校庭は、工期や養生期間等を考慮すると、全面芝生ではなく一部を芝生にして、憩いの場所としてくつろげるようにしてほしい。

## 今後の予定



月1回程度の頻度で改築検討協議会を開催し、明年1月頃には基本計画案をとりまとめる予定です。検討の進行状況により、延長する場合があります。

第3回協議会は、8月9日(月)に行いました。第4回協議会は、9月13日(月)午後3時から高井戸第二小学校にて開催する予定です。

名称：高井戸第二小学校改築検討協議会ニュース第1号  
発行：平成22年8月  
計画のお問い合わせ先：杉並区教育委員会事務局校舎改築担当  
電話：3312-2111（代表）  
E-mail：GAKKO-HAITI@city.suginami.lg.jp



高井戸第二小学校校舎改築検討協議会に関する資料は、教育委員会ホームページに掲載しています。  
教育委員会ホームページ：<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

# 高井戸第二小学校

## 校舎改築検討協議会ニュース

### 第2号

— 配置計画の検討が始まりました —

### 協議会の経緯

杉並区では高井戸第二小学校の改築にあたり、高井戸第二小学校校舎改築検討協議会を設置し、新しい校舎について協議を行っています。6月の第1回協議会から、これまでに5回の協議会を行い、委員（地域の方々、学校関係者、PTA、学識経験者）から様々な意見が出され、改築にあたっての基本方針が決定しました。

また、10月25日に行った第5回協議会から、配置計画の検討が始まりましたので、改築基本方針と併せて、皆様に検討状況をお知らせします。

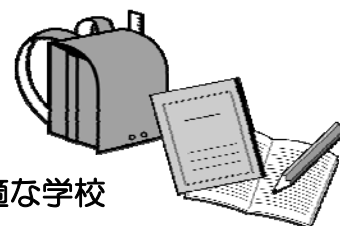
協議会検討経過		
第1回	平成22年 6月10日	協議会発足、計画概要について事務局から説明
第2回	平成22年 7月14日	荻窪小学校、高井戸小学校視察、意見交換
第3回	平成22年 8月 9日	改築基本方針の検討
第4回	平成22年 9月13日	改築基本方針の検討
第5回	平成22年10月25日	改築基本方針の決定、配置計画の検討

### 改築基本方針が決まりました

高井戸第二小学校改築にあたっての基本的な考え方となる、改築基本方針をまとめました。基本方針は3つの柱を軸としました。全文は次ページに掲載しています。



- 1 子供の夢が、未来が広がる学校
- 2 子供の笑顔がはじける安心・安全で快適な学校
- 3 自然の風、地域の風が吹きぬけ、地域の中心にある学校



## 高井戸第二小学校改築基本方針

### 1 子供の夢が、未来が広がる学校

～「学びの場」としての高機能で多機能な学習環境の整った学校づくり～

- 学年区分に応じたゾーンを設け、その成長度合いに応じて少人数指導、習熟度別学習、グループ学習など多様な学習活動が可能な大小の学習空間を、オープンスペースと普通教室を連動させて作り出す。
- 日々の活動が主体的、能動的に行えるよう子供の目線に配慮するとともに、自主学習や読書をはじめ、理科や社会など疑問に思ったことを自ら調べられるラーニングセンターを学校の中心に据え、子供の自発性、向学心を伸ばせる施設とする。
- ICT環境や、小中一貫教育の充実を視野に入れた施設とする。
- 日本の伝統・文化の理解が深めやすい空間を備えた施設とする。
- 子供の健康や体力向上に資するため、運動施設はゆとりのある、利用のしやすさに配慮した配置とする。

### 2 子供の笑顔がはじける安心・安全で快適な学校

～「集団生活の場」としての健康的かつ安全で快適な学校づくり～

- 歩道状空地と植栽が調和し、街に溶け込み、安全で、かつ、学校に来ることが楽しくなる空間をつくる。
- 特別支援学級の充実を含め様々な人々への配慮が盛り込まれたユニバーサルデザインを基調とした施設とする。
- 子供たちの環境教育にも活用できるエコスクール(環境共生型学校)を基本とし、木質化した内装など、快適で温もりのある施設とする。
- 子供たちが安心して過ごせるよう将来に渡った施設の安全性や不審者の侵入防止などの安全対策が十分に講じられた施設とする。

### 3 自然の風、地域の風が吹きぬけ、地域の中心にある学校

～「地域の公共施設」としての地域に開かれた学校づくり～

- 街のランドマークとして地域の人にも愛され、また、子供たちも自分たちの街を見渡せ、地域の中の学校という意識を持つことができる施設とする。
- 地域の防災拠点としての十分な機能を備えた施設とする。
- 学童クラブを校内に設置し、放課後に子供たちが安全・安心に過ごせる場所をつくる。
- 子供・保護者とともに地域の人も自然環境の大切さを感じることができる施設とする。

※ この高井戸第二小学校改築基本方針は今後の議論により、部分的に加筆・修正が行われる場合があります。

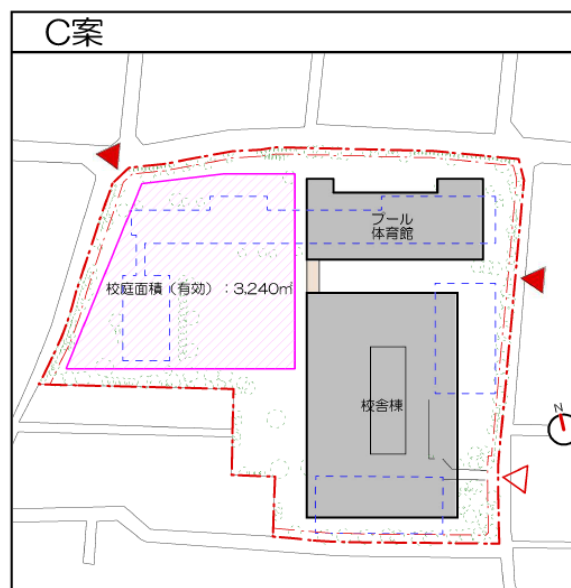
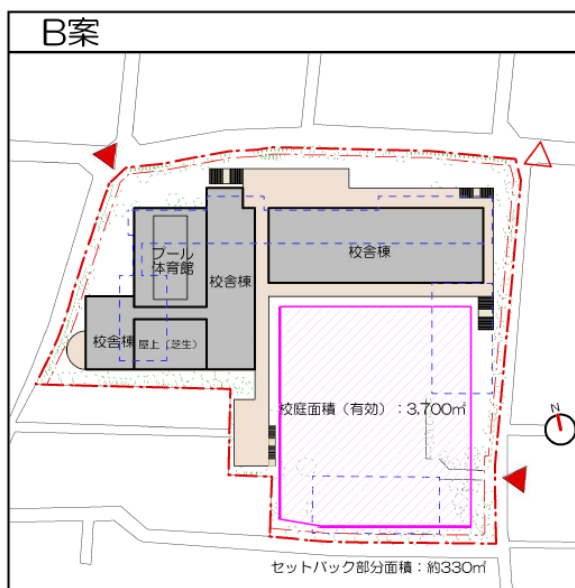
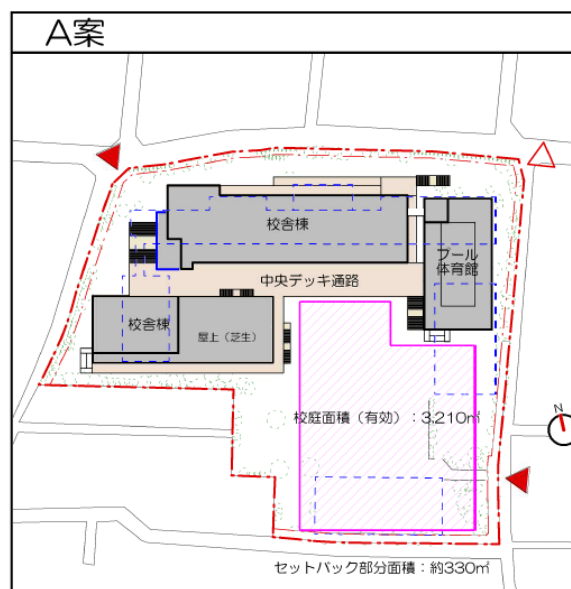
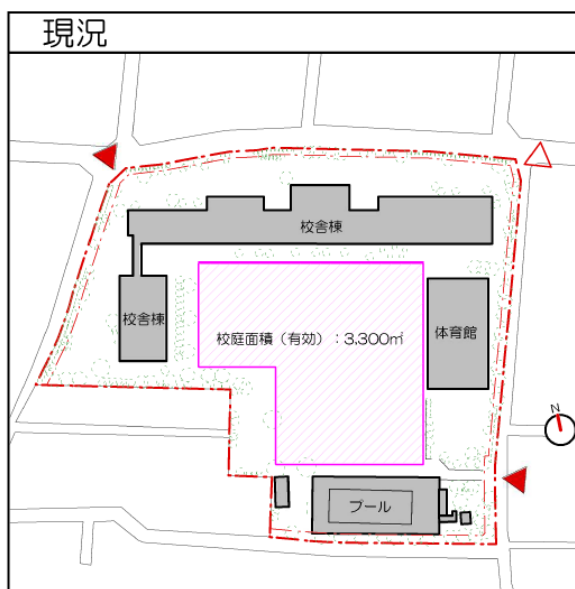


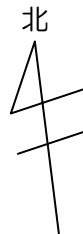
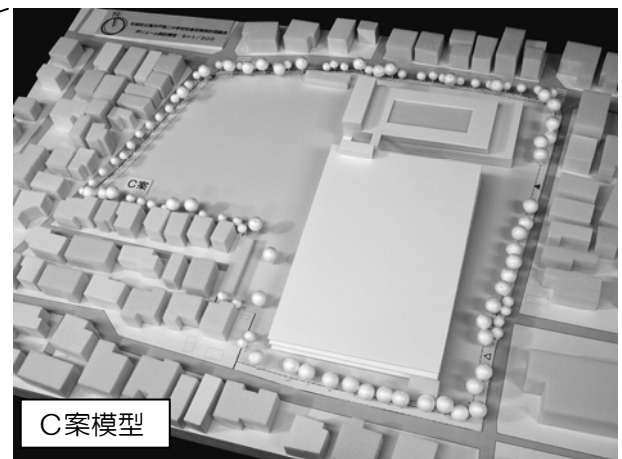
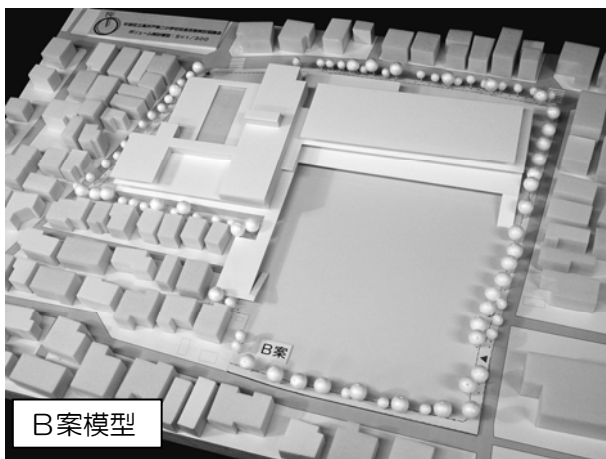
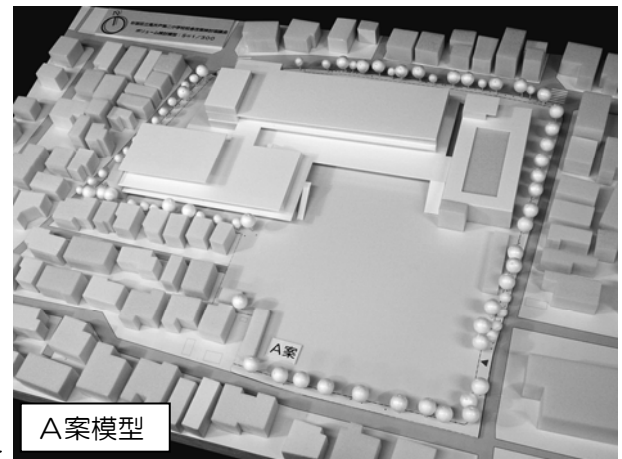
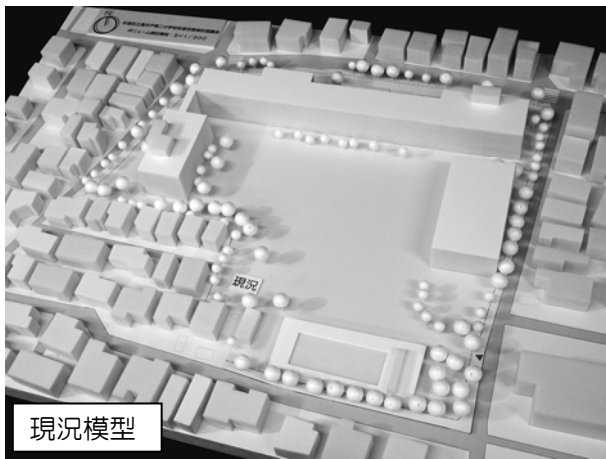
## 配置計画の検討

配置計画の検討は、はじめに東西南北に建物を仮に配置した案を作成し、日影の影響や風の通り抜け、校庭の状態、近隣への影響、工事中に既存の建物が利用できるかどうかなどを、各案を比較しながら検討します。

10月25日の第5回協議会では、以下に掲げたA～Cの3案について議論が行われました。

次回協議会より、以下の3案と、第5回協議会の意見を踏まえた新たな案を加えて具体的な配置計画の検討を行います。





## Q & A

改築にあたって寄せられることの多いご質問についてお答えします。

**Q** 工事はいつからいつまで行うのですか。

**A** 平成23年度に実施設計、仮設校舎建設を行い、24～26年度に新校舎建設、仮設校舎解体、校庭整備等を行う予定です。

**Q** 工事車両が出入りして子供に危険はないのですか。

**A** 工事区域は仮囲いをして子供と工事車両の動線を分けることや、交通指導員を出入口等に配置するなど、安全には十分に配慮しながら工事を行います。

## 今後の予定

月1回程度の改築検討協議会を開催し、明年1月頃には基本計画案をとりまとめる予定です。検討の進行状況により、延長する場合があります。

第6回協議会は、11月19日(金)に行いました。第7回協議会は、12月15日(水)午前10時から高井戸第二小学校にて開催する予定です。

名称：高井戸第二小学校校舎改築検討協議会ニュース第2号  
 発行：平成22年11月  
 計画のお問い合わせ先：杉並区教育委員会事務局校舎改築担当  
 電話：3312-2111（代表）  
 E-mail：GAKKO-HAITI@city.suginami.lg.jp

高井戸第二小学校校舎改築検討協議会に関する資料は、教育委員会ホームページに掲載しています。  
 教育委員会ホームページ：<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>



# 高井戸第二小学校

## 校舎改築検討協議会ニュース

### 第3号

— 配置計画が決定しました —

#### 協議会の経過

杉並区では高井戸第二小学校の改築にあたり、高井戸第二小学校校舎改築検討協議会を設置し、新しい校舎について協議を行っています。平成22年6月の第1回協議会から、これまでに8回の協議会を行い、委員（地域の方々、学校関係者、PTA、学識経験者）による議論を行ってきました。

これまでの議論により、この度、配置計画が決定しましたので、皆様にその内容をお知らせします。

協議会検討経過		
第1回	平成22年 6月10日	協議会発足、計画概要について事務局から説明
第2回	平成22年 7月14日	荻窪小学校、高井戸小学校視察、意見交換
第3回	平成22年 8月 9日	改築基本方針の柱立て
第4回	平成22年 9月13日	改築基本方針の柱立て
第5回	平成22年10月25日	改築基本方針の決定、配置計画の検討
第6回	平成22年11月19日	配置計画の検討
第7回	平成22年12月15日	配置計画の決定、平面計画の検討
第8回	平成23年 1月31日	平面計画の検討、報告書の検討

#### 配置計画の決定

新しい校舎、体育館、プール、校庭の配置計画については、校庭の日照や、教室環境、体育館環境、利用者の動線、近隣への影響、安全面・防災面などを考慮しながら議論を重ねた結果、校舎棟は既存校舎の配置に近い配置とし、体育館・プール棟を校舎棟の東側に配置するよう決定しました。裏面に図面を掲載します。

## 配置計画について

配置計画については、校庭の日照条件が良好なこと、南北に通風・採光が確保しやすいこと、近隣への影響が少ないこと、体育館と校庭が隣接しており防災拠点として利用しやすい位置にあることなどから、下図のとおり決定しました。

なお、プールは体育館の屋上に乗せて、体育館を地上より若干掘り下げたところから建設することにより、近隣への日照の影響に配慮することとしています。



## 今後の予定

第9回協議会(最終回)は、2月21日(月)に行いました。今年度中に校舎改築の基本計画案をとりまとめる予定であり、それをもとに基本設計を作成し、今年の春頃に近隣への説明会を開催していきます。

名称：高井戸第二小学校校舎改築検討協議会ニュース第3号  
発行：平成23年2月  
計画のお問い合わせ先：杉並区教育委員会事務局校舎改築担当  
電話：3312-2111 (代表)

E-mail：GAKKO-HAITI@city.suginami.lg.jp

高井戸第二小学校校舎改築検討協議会に関する資料は、教育委員会ホームページに掲載しています。

教育委員会ホームページ：<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>



## 杉並区立高井戸第二小学校改築検討協議会委員名簿

No	役職	団体名等	氏名	備考
1		高井戸交通安全協会久我山地区	大熊 和夫	
2		高井戸第二小学校支援本部	金澤 幸雄	
3		高井戸第二小学校支援本部	小嶋 貴子	
4		高井戸第二小学校 PTA	鈴木 菜未	
5		高井戸第二小学校支援本部	関口 佐知子	
6		青少年育成委員会宮前地区	永井 由紀	
7		久我山西自治会	秦 晴夫	
8		親児の会	平野 徹	
9		高井戸第二小学校学校評議員	古和 浩子	
10		久我山連合商店会	堀江 京司	
11		高井戸第二小学校学校評議員	松本 和恵	
12		主任児童委員	山瀬 睦子	
13		久我山南自治会	弓削田 梢	
14		高井戸第二小学校	遠藤 武司	校長
15		高井戸第二小学校	秋山 和子	副校長
16		高井戸第二小学校	永富 裕	事務職員
17	会長	首都大学東京副学長	上野 淳	学識経験者
18	会長職務代理	杉並区都市計画審議会会長職務代理	村上 美奈子	学識経験者



## 杉並区立高井戸第二小学校校舎改築検討協議会設置要綱

平成22年5月11日  
杉教第1356号

(設置)

第1条 杉並区立高井戸第二小学校(以下「高井戸第二小学校」という。)の改築にあたり、基本計画の策定のため、杉並区立高井戸第二小学校校舎改築検討協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、高井戸第二小学校校舎改築に関する基本計画案を検討する。

(構成)

第3条 協議会は、次に掲げる者につき、教育長が委嘱又は任命する委員をもって組織する。

- |                                  |    |
|----------------------------------|----|
| (1) 高井戸第二小学校通学区内に存する自治会・連合商店会の代表 | 3名 |
| (2) 高井戸第二小学校PTAの代表               | 1名 |
| (3) 高井戸第二小学校学校協力者の代表             | 4名 |
| (4) 高井戸第二小学校学校評議員会・学校支援本部の代表者    | 5名 |
| (5) 高井戸第二小学校長                    | 1名 |
| (6) 高井戸第二小学校教職員の代表               | 2名 |
| (7) 学識経験者                        | 2名 |

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から平成23年3月31日までとする。ただし、教育長が必要と認めるときは、延長することができる。

(会長)

第5条 協議会に会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を統括する。
- 4 会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、必要があると認めるときは委員以外の者の出席を求め、意見を聴き、又は説明を求めることができる。

(会議の公開)

第7条 協議会の会議は公開とする。ただし、出席者の過半数で決定したときは非公開とすることができる。

(事務局)

第8条 協議会の事務局は、教育委員会事務局教育改革推進課に置く。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成22年5月11日から施行する。
- 2 この要綱は、協議会の検討結果の教育長への報告をもって、廃止する。

## 高井戸第二小学校校舎改築検討協議会検討経過一覧

	開催日	検討内容等
第1回	平成22年6月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会委員委嘱</li> <li>協議会会長選出、会長職務代理の指名</li> <li>学校概要説明</li> <li>改築計画概要説明</li> </ul>
第2回	平成22年7月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設見学(荻窪小学校、高井戸小学校)</li> <li>改築にあたっての意見交換</li> </ul>
第3回	平成22年8月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの学校建築について</li> <li>改築基本方針の柱立て(案)の検討</li> </ul>
第4回	平成22年9月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>改築基本方針の柱立て(案)の検討</li> <li>敷地後退説明について</li> </ul>
第5回	平成22年10月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>改築基本方針の決定</li> <li>配置計画(案)の検討</li> </ul>
第6回	平成22年11月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>配置計画(案)の検討</li> </ul>
第7回	平成22年12月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>配置計画(案)の決定</li> <li>平面計画(案)の検討</li> </ul>
第8回	平成23年1月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面計画(案)の検討</li> </ul>
第9回	平成23年2月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面計画(案)及び動線計画の検討</li> <li>報告書(案)のまとめ</li> </ul>

杉並区立高井戸第二小学校校舎改築検討協議会報告書

平成22年度版

平成23年3月発行

編集・発行 杉並区教育委員会事務局

教育改革推進課校舎改築担当

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

TEL (03)3312-2111 (代)

登録印刷物番号

22-0125